⑨ 高知県三原村（みはらむら）

鳥獣被害防止　6次産業化　企業・地域住民・大学との連携

公益財団法人 三原村（みはらむら）農業公社

～目指します！！親・子・孫がゆずで暮らせる三原村！！～

収穫風景：運搬車両が乗り入れ可能

自動選果機械：青果出荷率向上、労務軽減

経　緯

○村の振興作物「ゆず」の産地化による雇用の拡大、耕作放棄地の解消を目指し、公益財団法人三原村農業公社が核となる取組を開始。
○作業員が一体となり肥培管理に努め、青果中心の栽培を行う体系をモデル的経営とし、子育て可能な農業システムを目指す。

取組内容

○公社中心のゆず栽培面積を拡大
○公社が研修生へ栽培技術・農業経営を指導し、新規就農者を育成
○自動選果機導入による青果出荷率の向上（青果率30%を目標）
○加工用ゆずの商品化と販路拡大

活動の効果

○公益財団法人三原村農業公社が核となりゆず栽培に取り組んだことで、職員の新たな雇用を創出（H22年度6人⇒H30年度34人）。
○産地化に必要なゆずの作付面積の拡大（H22年度10.2ha⇒H30年度51.55ha）。
○個人選果から自動選果機による共同選果により青果出荷率が向上（H22年度1.4%⇒H29年度23.9%）。

応募団体からのアピール・メーセージ

（公財）三原村農業公社が三原村ゆず産地化の核となり、大学と連携して肥培管理技術向上、農家所得向上、雇用創出、担い手確保につながるようがんばります。

高知県幡多郡三原村宮ノ川1271-152　Tel：0880-46-3240